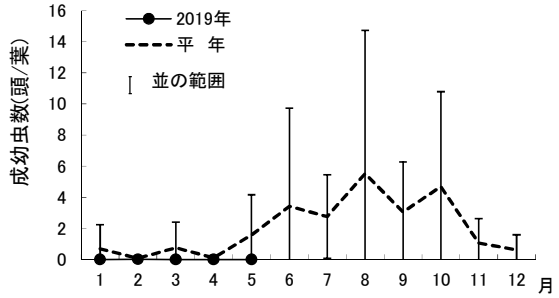
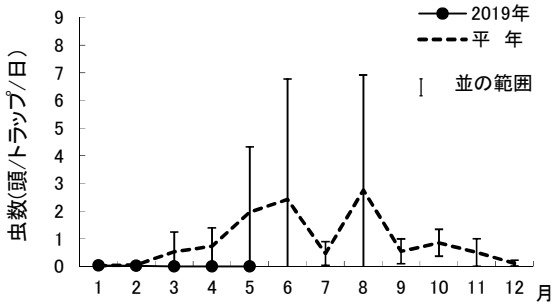
平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗） 開花期～幼果期にあたるため	

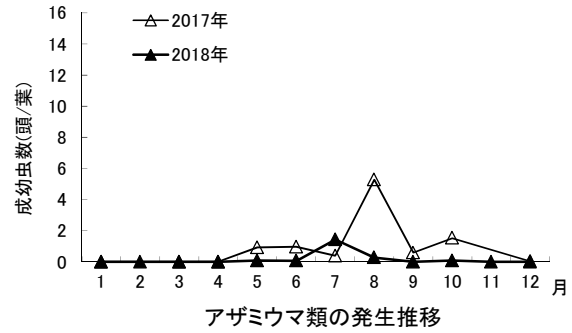
調査結果

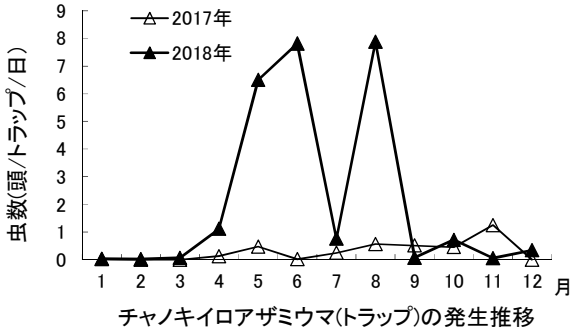
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・関係機関から一部ほ場で発生情報あり。

防除のポイント

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・多発した施設では、収穫後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

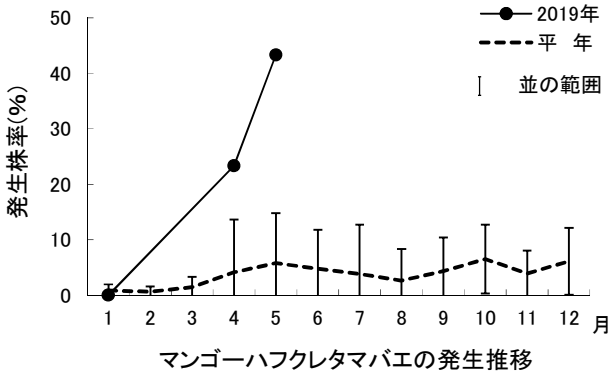
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
予報	6 月の発生量（平年比）	多	
	5 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	多	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↘）	

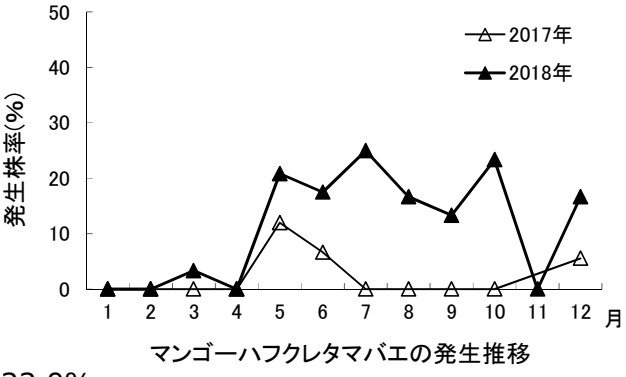
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・被害新梢率：22.0%
・発生施設率：80.0%

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に処分する。

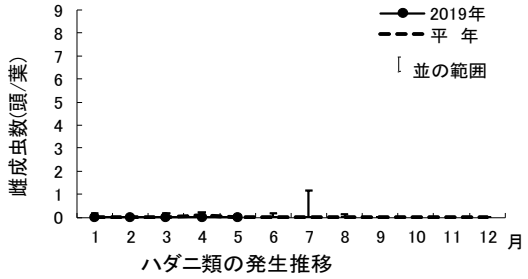
平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類			
予報	6 月の発生量（平年比）	並		
	5 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並		
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗）		

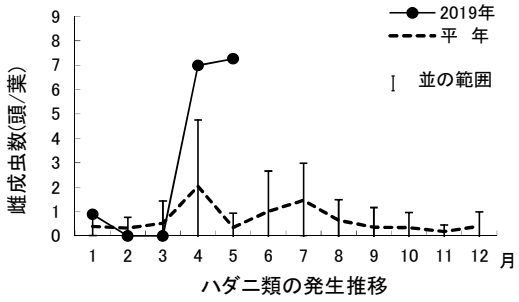
調査結果

今期と平年の推移

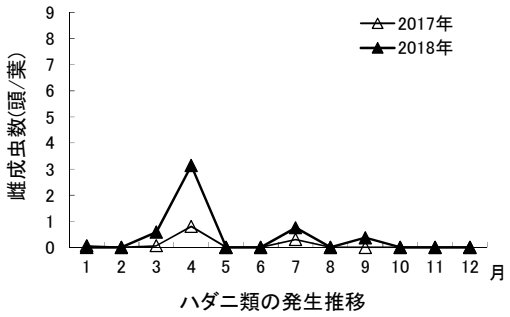
中央値

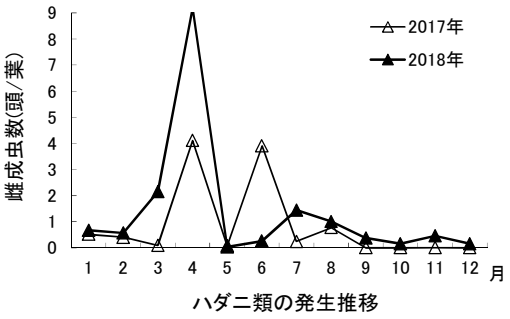


平均値



過去2年間の推移





・一部の定点調査ほ場で多発生していた。
・発生種：シュレイツメハダニ

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。